

令和 4 年度瑞穂公園清掃ボランティア活動がスタート

瑞穂鯨城会会長 32 期 中村 吉雄

令和 4 年度初めての瑞穂公園清掃は、気持ちの良い晴天の下 4 月 13 日水曜日朝 8 時に男性 10 名、女性 4 名の有志の方が参加して実施しました。

しかしながら、パロマ瑞穂スタジアムは 2026 年アジア大会開催に向け、老朽化した会場は解体撤去工事の真っ最中、制約された範囲の清掃にならざるをえません。

今日はボランティア活動に関心を持っておられる「若さ・情熱・行動力」の名古屋市議の先生が参加されました。また先生には新瑞橋バスターミナル清掃もお誘いしたら快諾していただきました。

清掃後、参加した全員で久しぶりにマスクを外した笑顔の集合写真を撮影しました。

ところで、会員の方に関心のある瑞穂鯨城会 20 周年記念植樹の桜の木は、パロマ瑞穂スタジアムの南出入口に植樹されていましたが、工事の関係で現在は名古屋市が造園業者に委託して一括して保管管理されています。

工事完了後元に戻すか、他に移植するかは未定ですが、詳しい事はパロマ瑞穂スタジアム管理事務所に名古屋市を通じて会長の私宛に連絡して貰う様に依頼しております。

分かり次第、ホームページに掲載します。

